



ダニからうつる病気の予防

ダニに咬まれてうつる病気（ダニ媒介性疾患）とは…

長崎県では次のような感染症が確認されています。

病名	日本紅斑熱 <small>こうはん</small>	重症熱性 血小板減少症候群	つつが虫病
病原体	日本紅斑熱 リケッチア	SFTS ウイルス	つつが虫病 リケッチア
病原体を持つダニ	マダニ類	マダニ類	ツツガムシ類
症状	高熱、発疹 など <small>主に西日本に生息</small>	発熱、消化器症状 (下痢、吐き気など) 重症化して、死亡することも	発熱、発疹、 リンパ節の腫れ <small>ほぼ全国的に生息</small>

「マダニ類」、「ツツガムシ類」

マダニ類やツツガムシ類は草むらや藪などに生息しているダニです。「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類、寝具に発生するヒョウダニのように家屋内に生息するダニとは種類が異なります。



ヤマアラシチマダニ



フタトゲチマダニ



アカツツガムシ

マダニ類、ツツガムシ類は山林、草地などに生息していて、特に**3月から11月**にかけて活動的になるので注意が必要です。

五島保健所管内では今年度に入り、ダニ媒介性疾患の患者が確認されています。今後も引き続き注意が必要です。

予防のポイント

マダニに咬まれないようにすることが重要です。

農作業や庭仕事、レジャー等、野外で活動する際には

1 長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴等を着用して皮ふの露出を少なくし
防虫スプレーを使用する

2 作業後は身体や服をはたき、ダニに咬まれていないか確認する。

※入浴でダニがついていないかチェックすることも有効です。



ダニに咬まれたら...

ダニに咬まれても、痛みや痒みはあまりなく、気づかないことが多いようです。野外活動後の着替え時などに、ダニが吸着していないか確認して下さい。

もし、吸着しているダニを見つけたら...

- 1 放置すると数日にわたって吸着し、吸血し続けますので、見つけたら早めに取り除くことが必要です。
- 2 無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、できれば病院(皮膚科)で処置を受けましょう。
- 3 自分で取る場合は、先の細いピンセットを用い、できるだけ皮ふに近い部分でダニをつまみ、つぶさないように注意して取り除きます。取り損ねて一部が残ってしまった場合には、病院で取ってもらいましょう。
- 4 咬まれてしばらくして(数日~2週間程度)発熱や発疹などの症状が出た場合には、早めに病院を受診し、ダニに咬まれたことを医師に伝えましょう。



馬原アカリ医学研究所提供

***ペット(犬・猫)も対策が必要です!**

飼い猫のダニ媒介性感染症の感染が確認されており、注意が必要です。猫は必ず室内で飼いましょう。犬もできれば室内飼いが安心です。また、動物病院で予防薬をつけてもらいましょう。

*近年のダニ媒介感染症 発生状況

○発生患者数

	令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			令和5年		
	全国	長崎県	五島												
SFTS	101	8	1	78	6	1	110	6	1	118	13	2	134	13	0
日本紅斑熱	318	15	0	422	18	1	490	28	0	457	22	1	501	14	1
つつが虫病	404	1	0	538	11	0	544	14	1	492	7	0	444	15	3